

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成25年7月4日 (2013.7.4)

【公開番号】特開2011-257784(P2011-257784A)  
 【公開日】平成23年12月22日 (2011.12.22)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-051  
 【出願番号】特願2010-128995(P2010-128995)  
 【国際特許分類】

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

H 0 4 N 13/04 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 17/40 F

H 0 4 N 13/04

【手続補正書】  
 【提出日】平成25年5月16日 (2013.5.16)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

立体画像をなす一対の画像入力データの中から第 1 の基準値より飛び出た画像部分の内最も飛び出た画像部分の視差データを第 1 の視差データとして出力するフレーム視差調整量生成部と、

前記一対の画像入力データの中から第 2 の基準値より引っ込んだ画像部分の視差データを第 2 の視差データとして出力する画素視差調整量生成部と、

前記第 1 の視差データに基づき前記一対の画像入力データ全体を奥側に移動させ、前記第 2 の視差データに基づき前記一対の画像入力データのうち前記第 2 の基準値より引っ込んだ画像部分を手前側に移動させて視差量を調整した一対の画像出力データを生成して出力する調整画像生成部と  
 を備える画像処理装置。

【請求項 2】

前記調整画像生成部は、前記一対の画像入力データの視差データから前記第 1 の視差データと前記第 1 の基準値との差に基づく値を減ずる請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記調整画像生成部は、前記引っ込んだ画像部分の視差データに前記引っ込んだ画像部分の前記第 2 の視差データと前記第 2 の基準値との差に基づく値を加える請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 の視差データは、前記一対の画像入力データを複数の領域に分けた各領域の視差データを基に求められる請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

1 つのフレームの前記第 1 の視差データを他のフレームの前記第 1 の視差データに基づいて補正し補正後の第 1 の視差データとする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記補正後の第 1 の視差データは、1 つのフレームの第 1 の視差データに前記 1 つのフ

レームの前後の第 1 の視差データを含めた平均値である請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置にさらに表示部を備え、前記表示部は前記調整画像生成部で生成された一対の画像出力データを表示する画像表示装置。

【請求項 8】

立体映像をなす一対の画像入力データを入力し、前記一対の画像入力データの中から第 1 の基準値より飛び出た画像部分のデータの内、最も飛び出た画像部分のデータの視差データを第 1 の視差データとして出力するステップと、

前記一対の画像入力データの中から第 2 の基準値より引っ込んだ画像部分のデータの視差データを第 2 の視差データとして出力するステップと、

前記第 1 の視差データに基づき前記一対の画像入力データ全体のデータを奥側に移動させ、前記第 2 の視差データに基づき前記一対の画像入力データのうち前記第 2 の基準値より引っ込んだ画像部分のデータを手前側に移動させた画像出力データを生成して出力するステップとを備える画像処理方法。

【請求項 9】

前記第 1 の視差データとして出力するステップは、

立体映像をなす一対の画像入力データを入力し、前記一対の画像入力データを複数の領域に分けた各領域の視差量を算出してブロック視差データとして出力するブロック視差算出ステップと、

前記ブロック視差データを基にフレーム視差データを出力するフレーム視差算出ステップと、

1 つのフレームのフレーム視差データを他のフレームのフレーム視差データによって補正した補正後フレーム視差データとして出力するフレーム視差補正ステップと、

鑑賞の状況を示す情報を基に作成される視差調整情報および前記補正後フレーム視差データに基づいて前記第 1 の視差データとしてフレーム視差調整データを出力するフレーム視差調整量算出ステップとを有し、

前記第 2 の視差データとして出力するステップは、

前記一対の画像入力データの画素ごとの視差を検出して画素視差データを出力する画素視差算出ステップと、

前記視差調整情報および前記画素視差データに基づいて前記第 2 の視差データとして画素視差調整データを出力する画素視差調整量算出ステップとを有する請求項 8 に記載の画像処理方法。